

平成 23 年 7 月 22 日

厚生労働省がん対策推進協議会 会長 門田守人様

厚生労働省健康局総務課がん対策推進室 室長 鈴木健彦様

厚生労働省がん対策推進協議会委員およびがん患者団体有志一同

相談支援体制の充実に向けての意見書

がん対策推進基本計画、ならびに同基本計画の見直しにおいては、相談支援センターの機能強化と共に「ピアサポートのさらなる推進」が明記されています。

私たちは、よりよい相談支援体制を築くため、以下に示す調査事業と評価、ならびにモデル事業実施に向けた予算措置を要望いたします。

要望事項

1. ピアサポートの実態把握および効果検証事業
2. ピアサポートに関わる既往文献の収集・整理事業
3. 相談支援センターとピアサポーターによる連携モデル事業

背景

がん対策推進基本計画に基づき、現在、様々な医療機関などによる相談支援事業や患者団体によるピアサポートが実施されています。しかしながら、ピアサポートに関しては、

①実施内容・質の担保などが不明であること、②効果が不明であること、③がん相談支援センターとの連携が図られていないこと、が希求の課題となっています。

そこで、相談支援の両輪である相談支援センター相談員とピアサポーターが連携協力のもとに円滑に機能し、がん患者家族への相談支援体制がさらに充実するため、ピアサポート活動の実態調査と評価、連携モデル事業の実施に向けた、予算措置を要望いたします。

実施内容

1. ピアサポートの実態把握および効果検証事業
 - ①ピアサポートを実施している全国のがん患者団体、ピアサポートを導入しているがん診療連携拠点病院等を対象としたアンケート調査の実施（実施内容・相談範囲・頻度・ルール・料金・ピアサポーター養成の受講料、グループカウンセリングと1対1カウンセリングそれぞれ分けて）
 - ②ピアサポートに関する効果検証
 - ③実施主体は公募とする

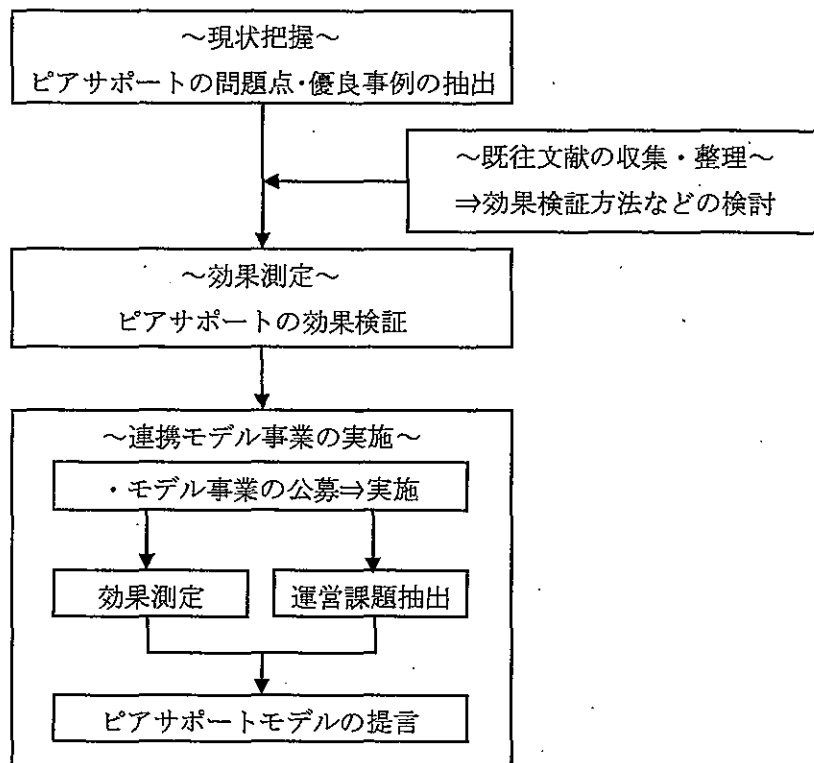
2. ピアサポートに関わる既往文献の収集・整理事業

- ①心理学や看護学領域などで既に報告されているピアサポートに関する既往文献の収集
- ②問題点、効果、評価事項などの抽出
- ③実施主体は公募とする

3. 相談支援センターとピアサポーターによる連携モデル事業

- ①がん相談支援センターと連携したピアサポート活動のモデル事業を実施し、課題を抽出
- ②課題の抽出をもとに、今後の展開に向けた提言をまとめる
- ③連携モデル事業は公募制とする

■事業全体フロー



厚生労働省がん対策推進協議会委員およびがん患者団体有志一同

- 天野 慎介
- 花井 美紀
- 本田 麻由美
- 眞島 喜幸
- 松本 陽子
- 三好 綾
- 安岡 佑莉子